

# 特集 曾於市はこれから どんなまちになっていく？



曾於高校の2・3年生の36名に聞きました。

将来、曾於市にどんなまちであって欲しい？





色んな意見が出てる! みんなちゃんと答えられるなんてすごい! でも、どうなるか全然想像できないよね...



そうだね。見当もつかないよ…。これはもう、いつそ曾於市に直接聞いてみたらいいんじゃないかな?



# トークルーム To 曾於市役所



曾於市役所

既読  
5:00

実際のところ、これから曾於市はどんなまちになっていこうと思ってるの？



これからというのがどのくらい先かわからないですが、ひとまず2025年までに「豊かな自然の中でみんなが創る笑顔輝く元気なまち」を目指しています。

5:00

既読  
5:11

へえ…なんかふわっとしてるね。



既読  
5:15

どうしたらそんなまちになるのか想像できなくない？



既読  
5:21

わかる！全然できない。



曾於市役所

「第二次曾於市総合振興計画」というまちづくりのガイドラインがあって、それをもとに市の事業が決められています。どんなものがあるか、ぜひ読んでみてください。

5:21



曾於市役所

<https://bit.ly/2UAADdf>

曾於市役所ホームページ  
第二次曾於市総合振興計画について



5:21

既読  
5:45

見てきたけどページ数がすごいあって読む気が失せる件



既読  
5:46

そもそもこの計画はちゃんと進んでるの？



曾於市役所

進んです…！この計画はわたしたち行政だけが進めるものではなく、市民や地域などみんなが一体となって実現させていくものなんですよ。

5:46

既読  
6:00

どんな感じで進んでいるのか知りたいかも～





# 例えばこんな風に進んでいます



「第二次曾於市総合振興計画」は5つの基本方向と9つの基本計画から、まちづくりの指針を決めています。基本計画の中にも細かな目標と「これまでの成果と課題」から「今後の取り組み」などが書かれています。例えば…

## 基本計画番号1 市民全員が一体となって課題を解決するまち (時代の変化に対応したスピード感のある行政運営・安心で快適な公共施設)

これを実現するために進められている事業のひとつに「**本庁・支所機能再編計画**」っていうのがあるのね。



### 「本庁・支所機能再編計画」

### これまでの流れ

曾於市では、平成17年に3町が合併した際にすべての機能を末吉本庁に統合せず、教育委員会、農業委員会、福祉事務所の機能を各支所に分散させています。

これはまちづくりや実務引継の観点から、合併時にすべての機能を一元化するのは控え、段階を追って整備していくことが決められていました。

そのため、どのような形で本庁に移行していくべきかさまざまな検討が行われ、平成27年には「第二次曾於市行政改革大綱」で「10年以内に本庁移管すること」と「支所では安定した市民サービス提供維持」が掲げられ、大隅・岩川・財部の各地域検討委員会にて、より深く具体的な検討が行われてきています。



大隅地域振興検討委員会



行政改革推進委員会



財部地域振興検討委員会



岩川地域市街地活性化検討委員会

### 【検討委員会のメンバーとスケジュール】

大隅地域振興検討委員会	市民15人による構成	平成30年5月～7月開催
財部地域振興検討委員会	市民15人による構成	平成30年5月～7月開催
岩川市街地活性化検討委員会	市民等15人による構成	平成30年9月～11月開催
曾於市行政改革推進委員会	市民等10人による構成	平成30年12月～平成31年3月開催

既読  
6:15

「スピード感がある行政運営」という将来像を実現するためには本庁と支所の機能をひとつにした方が良いということね。検討委員会ではどういったことが話し合われて、今後はどうなっていくのかしら？



平成30年度に各地域の検討委員会では「機能が本庁に集約した後の支所体制」や「中央公民館」についても話し合いが行われ、その内容は曾於市行政改革推進委員会にて審議が進められ、平成31年3月に答申が市長に渡されました。

6:15

既読  
6:24

つまりこれは曾於市が大学の先生や地域の代表の人たちに集まってもらって、「本庁・支所機能の再編についてみんなで考えてそれを教えてください」ってお願いして出てきた結果を、案としてまとめたものなんだね。



これらの意見は「財部、大隅の地域振興委員会と岩川市街地活性化検討委員会の答申は地域の代表の方々の意見なので重視すること」とされています。

6:24

## 全体 (抜粋)

支所職員数の減（教育委員

会・福祉事務所・農業委員会

の本庁機能集約のため）を伴

う再編を行うことでより一

層、市民サービスの低下が懸

念されますが、市民サービス

維持・向上など**支所機能の充**

**実は必須**とされます。

また支所は主に**市民サービ**

**スに特化した業務に専念**する

など、本庁事務との役割分担

を明確にすることで、地域対

応事務に絞った支所機能を目

指す必要があります。

サービス向上の方法とし

て、フロア案内専門員の配置

やテレビ電話など**ICTツ**

**ルなどの活用**も積極的に導入

する必要があります。

耐震性や防災拠点の課題か

ら本庁庁舎の増築や支所庁舎

の**移転改築などは必須**と考え

られます。現実的に建設可能

なのか財源を含めた事業計画

が必要です。

## 末吉 (抜粋)

### ◎建物

本庁・支所機能再編に伴い

必要となる本庁庁舎増築にあ

たっては、概ね3階建てで延

べ床面積1,200㎡程度を

考えているとの説明でした

が、現在でも不足している執

務室スペースや会議室、相談

室などの確保だけでなく、**明**

**るく市民に優しいスペース**も

考慮する必要があります。

防災拠点として、災害時の

災害対策本部設置スペースや

市民の避難スペース、資材倉

庫等の設置が新たに見込まれ

ています。通常は会議室や

相談室として利用するなど有

効活用が必要となります。

**原則としてバリアフリー**を

施した施設とし、市民がよく

利用する市民部門・福祉部門・

税部門等の部署は、1階に配

置するなど配慮が必要です。

行政施設の役割以外にも**市**

**民が楽しめる空間を取り入れ**、

高齢者や身体の不自由な方に

も優しい施設など**将来を見据**

**えた市民の利用しやすい特徴**

**ある施設の検討**を望みます。

### ◎サービス

来庁者の利用頻度の多い関

連のある課の集中配置や閉庁

日でも住民票等の発行サービ

スが可能となる体制づくり等

を実施することが、市民サー

ビスの充実に最重要と考えら

れます。

本庁に機能を集めると職員も部署が増えるから、色々な整理が必要そうなんだね！



# 大隅 (抜粋)

## ◎建物

現庁舎は建築経過年数、建物の構造、耐震診断等の状況および河川氾濫による水害を受ける立地場所にあることから、**災害の影響を受けにくい場所への移転新築**が望ましいと考えられます。交通面のアクセスや市有地の有効活用、既存施設との連携などを考慮すれば、大隅文化会館周辺が建設候補地として最適と考えられます。

高齢者や身体の不自由な方も利用しやすい**1階建てで、庁舎内に金融機関等や店舗等を設置**することを望みます。

## ◎大隅中央公民館

駐車場も狭く外観上も老朽化が著しいため**新築**することを望みます。利用状況を詳細に調査し、代替施設による利用検討や利用実績に応じた建築規模を算定する必要があります。

## ◎支所再編・行政サービス

本庁集約はやむを得ないが住民サービスを向上させ、**本庁まで行かなくても手続き・相談・指導等を受けられる**サービスに取組み、地域に精通する職員になるように資質向上に務め、市民サービスに特化した事務を引き継ぐ体制を整える必要があります。

## ◎複合施設の検討

大隅支所庁舎と大隅中央公民館の施設をそれぞれ整備するのではなく、**支所庁舎の機能に中央公民館を取り込んだ複合施設として整備**することで、コンパクトで市民や利用者が使いやすい施設の建設を要望します。

## ◎岩川小学校跡地

運動場は弥五郎どん祭りの主会場であるため、現状を維持。解体しない特別校舎は、コミュニティ施設としての有効活用の検討が必要です。

# 財部 (抜粋)

## ◎庁舎建物

財部支所庁舎は、建築経過年数、建物の構造や耐震診断などを総合的に検討した結果、30人から40人程度配置できる**コンパクトな庁舎を新築**することが望ましいと考えられます。

高齢者や身体の不自由な方も利用しやすい**1階建て**を望みます。なお建築場所については、さらに深い検討を希望します。

また、市民の集う場として、子育て支援、健康づくり、金融機関等や店舗等の民間施設等を設置する**複合施設機能の検討**も望みます。

## ◎支所再編・行政サービス

農業委員会と福祉事務所の本庁移管はやむを得ないが、住民サービスが低下することが無いよう**市民サービスを特化した事務を引き継ぐ体制を整える**必要があります。

## ◎財部中央公民館

立地場所や現在の施設の活用など、現状維持の意見も多いことから、継続して長く利用するため、平成31年度に耐震調査を実施し、耐震が無い場合には**耐震補強および改修を実施**することを望みます。

## ◎自治会・小学校統廃合

自治会統廃合の推進、小学校は当分の間は現状維持を希望。

## ◎ほかにも…

市民アンケート調査の実施と住民説明会の開催。

災害のことも含めて、各町で細かいところまで話し合うのね。「まちづくり」ってこうして進んでいくんだ！



この件についてはまだ案が出されている段階で決定ではありません。今年度は市民の皆さんへのアンケートや説明会を行っていく予定ですので、また詳しい内容や今後の動きなどは、一緒に考えていきましょう！

# トークルーム To 曾於市役所

既読  
7:00

具体的な事業をみたらなんか「まちづくり」が進んでる実感が湧いた…！面白いね！



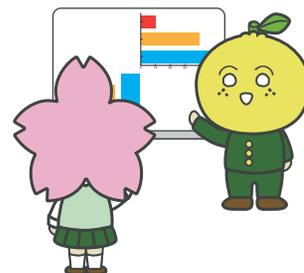
さきほど紹介した「本庁・支所機能再編計画」は長期的な事案ですが、毎年の予算でも「まちづくり」を知ることができますよ。  
平成31年度予算ではこんな新規事業を始めています。

7:00

## 基本方向1 市民主役の協働のまちづくり

### ○第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業(312万4千円)

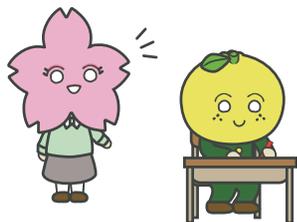
平成27年度策定の「曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しを行い、新たな人口ビジョンおよび総合戦略の策定を行うことで、地方創生を更に推進します。



## 基本方向2 市民のこころ安らぐまちづくり

### ○生活困窮者自立支援各種事業(548万1千円)

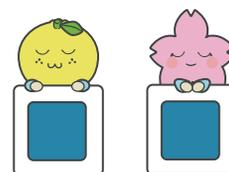
生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として包括的な支援を実施します（一時生活支援・就労準備支援・家計改善支援・子ども学習支援）。



## 基本方向3 地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり

### ○企業合宿誘致補助金(100万円)

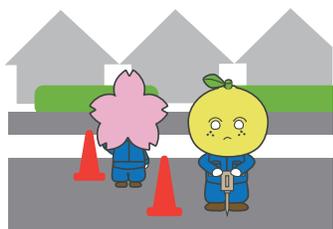
市内の宿泊施設にて研修・合宿を行う情報通信事業者を補助することにより、曾於市の認知度向上およびサテライト施設への入居を推進します。



## 基本方向4 市民生活の土台を守るまちづくり

### ○市道舗装等修繕工事(5,350万円)

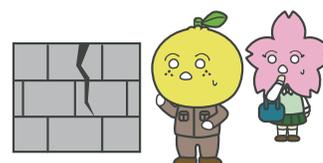
市道の舗装・法面修繕の計画策定により、国の公共施設等適正管理推進事業債を活用した市道修繕を実施します。



## 基本方向5 個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

### ○小・中学校屋内運動場非構造部材改修工事(3億6,487万9千円)

児童・生徒の安全確保を図るため、老朽化した小・中学校屋内運動場の外壁・内壁・吊り物等の調査や改修を実施します。





当初予算からは今年1年の曾於市の「まちづくり」がわかります。

**平成31年度の施政方針**はこちらです



## 施政方針概要

### 1. 人口増対策

末吉町柳迫地区および大隅町坂元地区の宅地分譲の販売は平成30年度から開始。大隅町大隅南地区の販売は平成31年夏頃から開始予定。平成31年度は財部地域において宅地分譲事業を推進。

### 2. 子育て支援

保護者負担を軽減するため、保育園や幼稚園等の負担金の軽減や高校3年生相当までの医療費の無料化、小中学校の給食費について月額3分の1以内の補助を継続。

平成31年度から、子育て支援拠点事業として大隅地区と財部地区に新たに子育て支援センターを開設し安心して子育てが出来る環境づくりを更に推進。

### 3. 情報発信

「市報そお」と「SooGoood FM」をより分かりやすく楽しみのあるものに。また、乃木坂46の大園桃子さんを初めとするPR大使の支援による本市PRの推進。

### 4. クリーンセンター改修

老朽化したクリーンセンター施設および設備の大規模改修工事を

平成31年度までの3カ年事業として実施。資源ごみのリサイクル化やごみの減量化を推進。

### 5. 産業の振興

曾於市は畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産額を増やすことを本市発展の基本と掲げる。園芸作物等については畑かんの水を活用した農作物の収量の増や品質の向上を図り農家の所得向上を促進。また農家の経営安定を図るため、加工・業務用野菜の取り組みも更に推進。

地域農業の支援組織としての機能強化を図るため、農業公社の事業を本格的に稼働。畜産については生産基盤の拡大を図るため畜産公共事業等の活用による規模拡大や収益力の向上、畜産振興協議会事業を中心とした導入保留対策や家畜改良を計画的に推進。家畜衛生対策の強化による安心・安全な畜産物の供給にも努める。

### 6. ふるさと納税

平成30年度は、16億円を超える寄附金があり、平成31年度は更にふるさと納税に対する活動を充実

し、本市の全国的なPRと地域活性化を推進。

### 7. ひとづくり

学力向上を最大の目標として、小中学校の学習環境整備を積極的に進める。合わせて曾於高等学校の発展についても優秀な人材の育成を学校と連携し「大学等進学祝金贈呈事業」など各種事業を今後継続して実施。

### 8. 健康・生きがいづくり

平成29年度にオープンした新地公園グラウンドゴルフ場はこれまで3万人を超える利用があり、今後も市内外からの利用者が広く交流し憩える場として、施設の充実とサービスの向上を推進。

### 9. 予算編成の概要

平成31年度の予算編成は、平成30年度に引き続き、市民に開かれた市政を目指し、農畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進。子どもからお年寄りまで、笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため、

③ 教育・文化を促進し、心豊かなまちづくり

④ 人口増を目指し、地域活性化の推進

⑤ 農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

の5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成。

その結果、平成31年度の一般会計当初予算は234億3千万円となり、前年度当初予算に対して、2億9600万円、1.3%の増となった。また、特別会計予算については予算総額が119億8748万2千円となり、前年度当初予算に対して、1億1340万円、1.0%の増となった。

以上、平成31年度における市政運営の基本的な考え方について申しあげましたが、市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年2月15日～3月25日

3月定例議会にて

曾於市長 五位塚 剛

# トークルーム To 曾於市役所



予算なんてちゃんと見たことなかったけど、何にお金を使うかでまちづくりが見えるんだね。

既読  
7:00



予算というのはその1年だけでなく10年20年先の曾於市のことを想って考えられています。ぜひこれからは**当初予算**を気にしてみてくださいね！

7:00

## 歳入(表1)

歳入の主なものとして、自主財源のうち、市税は市民税や固定資産税の増等により、3.9%増の32億3220万3千円を計上し、寄附金は思いやりふるさと寄附金10億円の計上により、10億500万3千円となりました。曾於市の自主財源比率は32.9%であり、昨年度と比較して1.2%増えています。

一方、依存財源のうち、歳入全体の32.9%を占める地方交付税は77億800万円を計上しました。地方交付税のうち普通交付税は合併算定替による特例交付の段階的縮減が平成28年度より開始していることから、3億4100万円、4.4%減の74億800万円となりました。

歳入において、市税等の自主財源の大幅な増は見込めないことから一般財源の不足額約25億円を財政調整基金等の取り崩しで対応しました。また、市債については小・中学校屋内運動場外壁・屋根等改修工事や市役所本庁舎耐震補強および外壁改修工事等の増に

より、12.7%増の30億5220万円を計上しました。

## 歳出(表2)

歳出の主なものとして、人件費は選挙事務による手当等の増により1.8%増の29億6928万2千円となり物件費は委託料等の増により2.6%増の35億2828万6千円を計上しました。扶助費は老人福祉費や児童福祉費等の減により、0.6%減の41億4288万7千円、普通建設事業費は小・中学校屋内運動場外壁・屋根改修工事等の増により、6.5%増の35億1149万6千円を計上しました。公債費は償還金元金の増により、0.5%増の32億1259万5千円となりました。

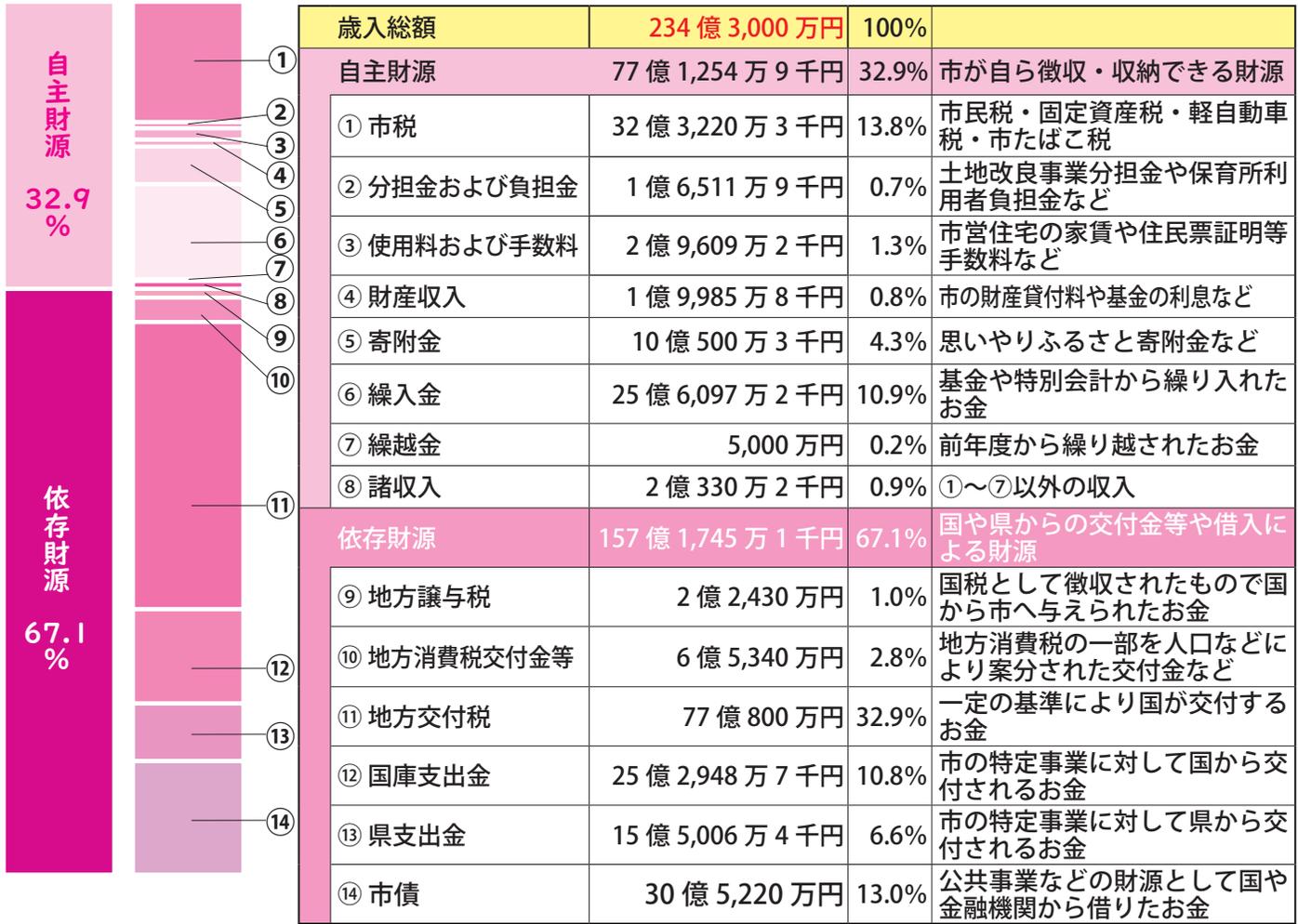
今年度も  
よろしくお祈りします！



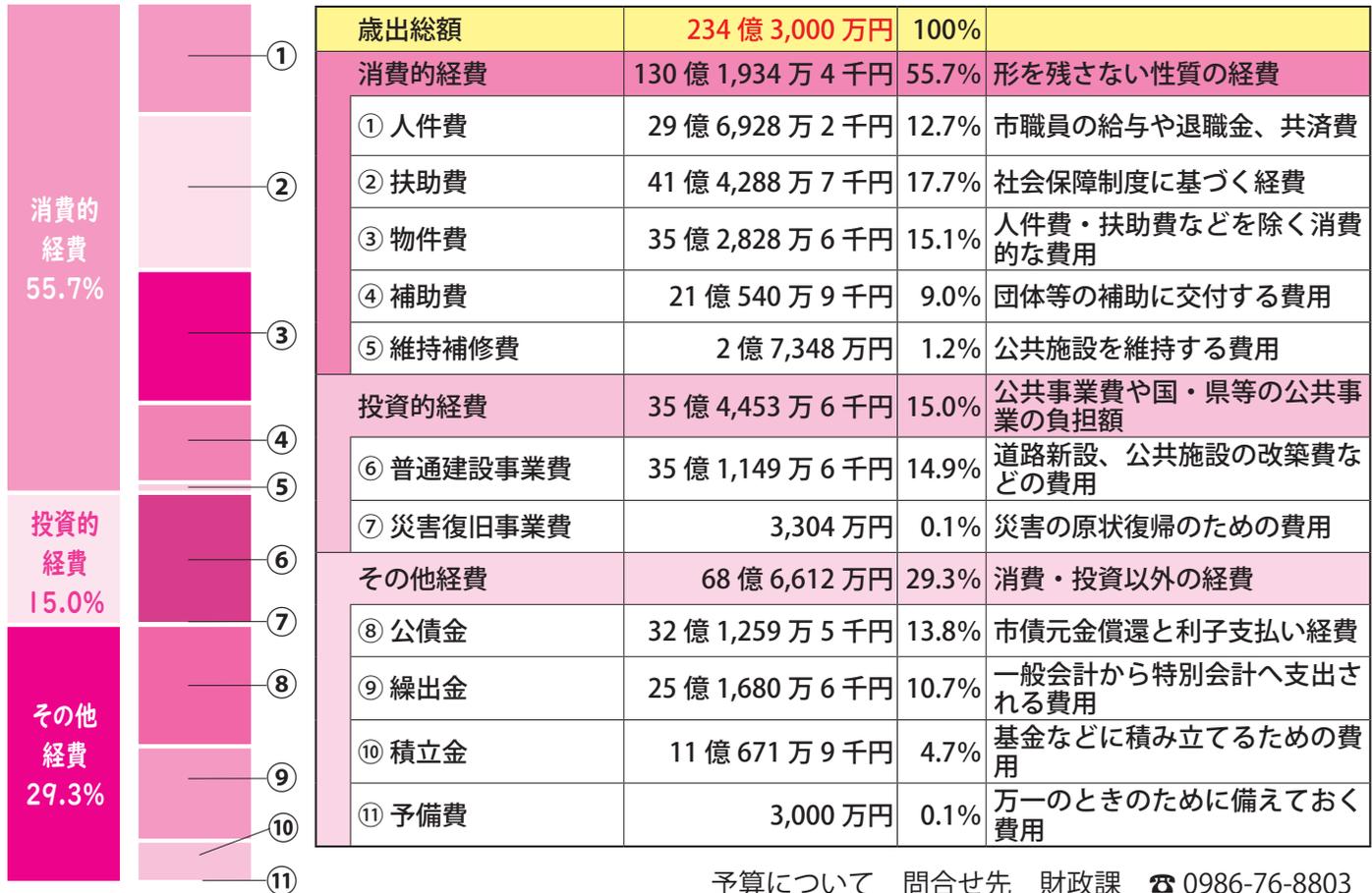
## 会計予算規模

区分	平成31年度	平成30年度	増減額	伸率	
一般会計	234億3,000万円	231億3,400万円	2億9,600万円	1.3%	
特別会計	国民健康保険特別会計	55億2,617万3,000円	54億8,629万1,000円	3,988万2,000円	0.7%
	後期高齢者医療特別会計	5億7,389万2,000円	5億7,627万7,000円	-238万5,000円	-0.4%
	介護保険特別会計	54億9,923万8,000円	54億8,446万9,000円	1,476万9,000円	0.3%
	公共下水道事業特別会計	2億5,710万9,000円	1億9,616万2,000円	6,094万7,000円	31.1%
	生活排水処理事業特別会計	1億1,322万5,000円	1億1,267万9,000円	54万6,000円	0.5%
	笠木簡易水道事業特別会計	1,784万5,000円	1,820万4,000円	-35万9,000円	-2.0%
	合計	119億8,748万2,000円	118億7,408万2,000円	1億1,340万円	1.0%
水道事業(支出計)	10億6,456万8,000円	8億9,252万8,000円	1億7,204万円	19.3%	
合計	364億8,205万円	359億61万円	5億8,144万円	1.6%	

【表1】一般会計 歳入グラフ



【表2】一般会計 歳出グラフ



予算について 問合せ先 財政課 ☎ 0986-76-8803